

## 36 貸借対照表の見方20

(固定・繰延資産と自己資本の関係を見ます)  
固定比率をみることとなります

月次試算表・貸借対照表(単位:千円) \_\_\_\_年\_\_月

固定・繰延資産が自己資本以下であることが理想です。

・[(固定資産)+(繰延資産)] ÷ 自己資本 × 100 = 固定比率

[(        )+(        )] ÷ [        ] × 100 = 【     】%

前月の固定比率より増加しましたか、減少しましたか。

・前月固定比率 < > 当月固定比率 (     %分) 増・減  
[        %] < > [        %]     【     %】 増・減

同業者の固定比率より高いですか、低いですか。

・同業者固定比率 < > 当月固定比率 (     %分) 高・低  
[        %] < > [        %]     【     %】 高・低

この固定比率は、低いほうが良いとされています

注)この固定比率は、自己資本に対する固定・繰延資産の割合をしめすものです。この割合が100%以下の場合、固定・繰延資産の資金源が自己資本のみで賄われたことになり、非常に安定した資金調達といえます。現実には「固定長期適合比率」と併せて、固定・繰延資産が長期資金によって賄われている財政状態かを判断します。